

2018年4月20～22日；四日市東日本大震災支援の会 第53回派遣 宮城県東松島市 あおい地区「春まつり」 活動報告

2018年5月26日
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文

宮城県東松島市では、集団移転が進み、仮設住宅の取り壊しが始まっています。今回は、東松島市内の最大の集団移転事業でできた「あおい地区」での春まつりに参加しました。金曜の夜から、10人乗りのワゴン車に屋台の機材を積み込んで、10時間かけて宮城へ。土曜は、はじめて東北に行くメンバーもいたので、日和山、女川に行きました。焼きガキ食べたり、大高森に登ったり、観光もしました。復興したとは、簡単には発言できませんでしたが、確実に復興に向けて進んでいますし、これからも寄り添い続けます。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

<活動場所>

■あおい地区

参加費

参加費 10,000円

<費用の内訳>

- ・四日市ー宮城県の往復移動/21日の入浴/ボランティア活動保険

<スケジュール概要>

★4月20日（金）

21：00 四日市大学出発

★4月21日（土）

08：00 宮城到着 青いこいのぼり視察、女川、石巻視察

14：00 あおい地区西集会所でイベント準備

17：00 元気の湯で入浴

18：00 西集会所で、あおい地区会の方々、JR 東労組高崎の方々とともに懇親会 ⇒2丁目集会所宿泊

★4月22日（日）

08：30～自治会役員さんたちとイベント準備

11：00～イベント 100人で36mののり巻きづくり

12：00～14：00 ワッフル&エビボール屋台

15：00 東松島市出発

24：00頃 四日市大学帰着 ⇒ 解散



メインイベントは、36mの「のり巻き」づくり



イベントを屋台で華やかに盛り上げました。ワッフル&エビボール！



亡くなった子供たちのことを思いつつ、青いこいのぼりの下に立ちました！



石巻で焼ガキを食べ、復興したかっちゃんて昼食、月浜で海を観て、あおいで食事会！



関東から東松島市を視点している団体と、あおい地区の皆さんと、記念撮影！